みんなで

のりこえよう通信

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長室から

令和　2　年　4月　10日　　NO.1

負けるもんか

先日、ある保護者と電話でお話をする機会がありました。日々の家庭の様子などを知らせてくれたのですが、その話の中で「はっ」としました。「緊急事態をお知らせするメ－ルやHPには、『中止』」とか『延期』とか、ダメになった話ばかりで気分が滅入る」というのです。

ごもっともなご指摘。

続けて「もっと明るいことを情報発信できないのか」と。

ウイルスに苦しみ緊急事態宣言まで出て、誰もが経験したことのないステ－ジに突入しました。そんな中でできることは、

何だろうと考えました。

遠い昔、私も担任をしていました。最後の卒業生がもう28歳ですから、13年も前に私の担任の生活は終わっています、しかし、手元には、7冊の学級通信をまとめた冊子があります。中学3年生を担任させてもらったときの日々の出来事やいろんな話を綴ったものです。

こんな苦しい時間に過去に書いた学級通信を思い出し、臨時休業中に久々「学級通信」風に色々お話をしたいと考えました。

なかには、「校長のくせに」と思われる文章も登場するかもしれませんが、それは緊急時の対応ということで、お許し願えたらと思います。

さて、本日のタイトルです。

これも少し昔の話ですが、ある尊敬する先輩がご退職なさったときに、聞いたのです。「三十年以上の教員生活を支えた言葉ってありますか」と。先生はおしゃいました。「苦しくって本当に我慢できなくなったとき、一回だけぽつりと言う『負けるもんか』がそれかな」と。